

コアトルヘッドについて

コアトルヘッドのシンボルはアステカ神話に出てくるケツアルコアトルの頭部です。

Quetzalcoatl (ケツアルコアトル) はメキシコ神話に出てくる文化をつかさどる神で、「明けの明星」、「復活の神」でもあります。

いけにえを要求するアステカの神々の中でケツアルコアトルへの供物は美しい蝶の羽根であるといわれています。

彼は、ほかのいけにえを要求する神々との戦いに敗れた時に、「私は一の葦の年(アステカの暦)に復活するであろう」と宣言してアステカを立ち去ったといわれています。

スペイン人コルテスにアステカ帝国が滅ぼされたのがこの「一の葦」の年でした。

右下の図が「葦(アカトル)」のイメージです。

詳しい調べがつかないのですが、このシンボルは「葦」と同時に弓矢の矢をあらわしているそうです。ところで、ケツアルコアトルの意味ですが、正確には、ケツアル・コ・アトルらしいのです。

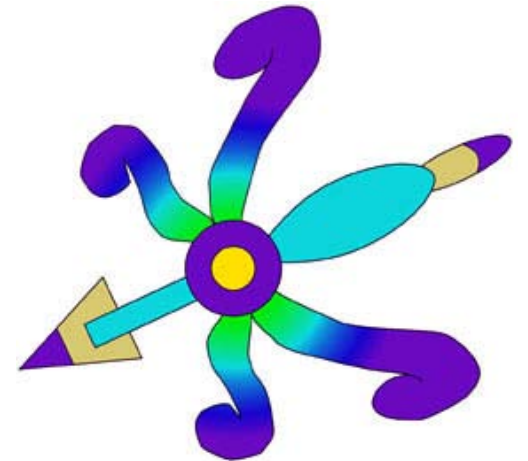
ケツアルとはカラフルな美しい羽をもった鳥の名前、でグアテマラの国鳥にもなっている珍しい鳥です。コ・アトルとは蛇の意味で「水辺にいるもの」というような意味をもっています。

つまり、ケツアル・コ・アトルとは「羽をもった蛇」言い換えればドラゴンのことです。

似たような神様はほかの南米諸国にもいて、マヤでは「ククルカン」、インカでは「アマル」などがそうです。ケツアルコアトルは多面性をもった神のようで、風の神「エエカトル」、雨の神「トラロック」などはケツアルコアトルの分身であるといわれています。

さて、このケツアルコアトルを私のシンボルマークにしたのは、パラドックス現象により蛇行しながらフライトしてゆくアローが「羽の生えた蛇」のイメージそのものだったからです。

そして、私の生年は辰の干支。つまりドラゴンのイメージでもあるのです。



チーム・コンフント・ケツアルコアトル



チームの紋章

紋章学を我流で研究しながらこのシンボルを作成しています。
かなり近い線までいっているとは思いますが、例えばカラーの使い方などは
正規表現を外れています。
ヘルメットは私の姓をナワトル語のシンボルで表現しており、一番上は
「キアウイトル」(雨)、次が「カリ」(宮殿)。

盾は「コンパウンドボウを引くケツアルコアトル」
サポーターは魚座のシンボル 2匹の魚
(普通は矛盾や二面性を表現するため向いている方向が違いますが、
この辺が私のへそまがりなところ……これも一種のパラドックスか)
モットーの意味は「矢はすでに放たれて大空にある」です。この言葉は
アルゼンチンのfolkloreの神様「アタワルパ・ユパンキ」のレパート
リーの中の一曲「矢は放たれた (La Flecha)」の歌詞から流用さ
せていただきました。
さて、このシンボルマーク、まだなにかもの足りないので構想を練ってい
ます。

プライベートグループ **Conjunto Quetzalcoatl** のシンボルマークです。
図柄のドローイングスタイルは、エジプトのラムセス2世が戦車の上で弓を引いている
有名なレリーフの影響を受けています。
いろいろなスタイルを試してみたのですが見た目のバランスはこれが一番でした。

ケツアルコアトルの原図は最初のパソコンであるFM-11時代のお絵描きソフトで作っ
た線画です。

もともと両手を広げているスタイルだったのですが、これをスキャンしイラストレータで
トレース。
イラストレータ上で右腕を曲げてフルドロのポーズに変身させそれに弓(コンパウン
ドボウ)を組み合わせました。
仕上げは、フォトショップでビットマップデータに変換し彩色したものです。

